

建築需要の増加による 事業再編へ

株式会社 三松
代表取締役 田名部 徹朗



建築需要の増加

1972年、三松は煙草乾燥機の製作を行う会社としてスタートした。環境や産業構造が劇的に変化していくなか、時代やニーズに対応し進化を遂げてきた結果、現在では建築部材をはじめ半導体・液晶製造装置から微細な電子部品に至る金属部品の製造、開発・設計、ソフト開発、人材教育、各種管理など、モノづくりに関わる様々な分野で独自の取り組みを行い、企業価値を高めている。

建築分野は、創業当時の事業である。戸建て住宅向けの外壁パネル、金物製作や、アパートの階段・手すり・外壁カバー等の寸法・長さ違いの多品種の製作・配送に柔軟に対応している。また複雑な曲げ加工を必要とする空調設備の吹出口・吸込口の製作や、空調機・除湿機・熱交換機などのユニット製作も手がけている。最大の特長は、西日本最大級の塗装ライン工場を持ち、長尺物や屋外用部材の塗装を行えることである。これにより、塗装、品質の安定や納期対応に大きなメリットがある。

建築分野との業務提携

ここ数年は、積極的な事業再編を進めている。

最たるものは、2014年10月に日創プロニティ株式会社(福岡市)との資本・業務提携を行ったことだ。日創プロニティは建築材料の金属加工メーカーで、メガソーラー用架台や建築パネルも手がけてい

る。提携の大きな理由は、三松のお客様600社余りが、九州のみならず、関西、中部、関東、東北と日本全国に広がっており、売り上げに占める割合は九州以外が50~60%にもなることだ。最近では、東日本大震災の復興需要や、2020年の東京オリンピック開催を見越した首都圏での建設需要が増え、三松の製作する建材、アルミ製の外壁パネルへの需要も増加している。「すべてを九州で加工するのは大変です。日創プロニティ様は東日本地区の需要に対応するため、2014年福島県に最新設備を導入した新鋭工場を竣工されたばかりなので、できれば当社で受注した仕事を福島工場でお手伝いしていただければ助かります」。三松だけでは難しい関東・関西での営業や製造支援により、資本・業務提携での実績を上げていくことを目指す。

また、ベトナムへ合併会社も設立する。制御盤メーカーである愛建電工株式会社

(本社・愛媛県)とベトナム・ハノイにある板金加工会社の3社で出資し、2016年に新会社を設立する。アジアの成長市場の取込みやコスト競争力アップの狙いがある。日本からも技術者を送り込み、技術指導をしていく計画だ。

その他、ロボット案件にも力を入れている。ロボットや搬送機器を使い、自動生産ラインの設計・構築を手がけるシステムインテグレータ(SI)として、複数の大手ロボットメーカーのパートナー企業の認定を受けた。これに自社開発のシミュレーションソフト「SMASH」を組み合わせ、開発コスト低減や工期短縮などのトータルソリューションを提案する。2016年には本社工場内に組立工場を増設し、研究開発センター建設も予定している。開発案件受託を強化する狙いだ。2015年をロボットイヤーに。その思いは、2016年も更なる発展を遂げながら加速していく。



製品検査・判定ロボット

●会社概要

株式会社 三松

- 住所：〒818-0013 福岡県筑紫野市岡田3丁目10番9号
- TEL：092-926-4711 (代)
- FAX：092-926-4711
- E-mail：onayami_kaiketsu@sanmatsu.com
- 代表者：田名部 徹朗
- 担当者：石田 重美
- URL：http://www.sanmatsu.com/
- 従業員：141名
- 創立：1972年(昭和47年)3月

- 主要三品目
- 精密板金加工 (1個から中量品まで)
 - 汎用自動ラインによる各種塗装 (粉体、メラミン、フッ素他)
 - OEM、ODM、アッセンブリー